

市役所 あれやこれや

1.13(金)・14(土)
平和市長会議へ参加

2012

香南市の取り組みや事業を紹介するコーナーです

1.19(木) エコドライブで地球に優しく



▲受講するともらえるステッカー

高知県では一昨年より、県民や事業者、『エコドライブ』を普及するため、『エコドライブ』の方法を教えることのできるエコドライブマイスター(教官)を県内の全指定自動車学校に1人ずつ育成しています。

この度、東部自動車学校で『エコドライブ教習会』が開催され、事業所として市役所より6人、土佐香美農業協同組合より3人の職員が参加しました。

香南市に久しぶりの恵みの雨が降る中、まず始めに普段どおりの運転を行い、その後運転実習や運転中の技術、ポイントなどの座学講義を受けました。受講後は燃費向上が見られ、急発進や急加速を控え、アイドリングストップなどを行った効果が現れていました。

市では、職員が率先して『エコドライブ』を実践し、市民や事業所の皆様へ取り組みを広げていけるよう啓発活動を実施しています。皆さんも家計にやさしいエコドライブに挑戦してみてはいかがでしょうか。



環境対策課 ☎ 57-8508

核兵器廃絶を目指す国際NGO「平和市長会議」(会長広島市長)の第1回国内加盟都市会議が13日、広島県の広島国際会議場で2日間の日程で行われました。参加者は、副会長を務める長崎市長ら国内加盟の75都市から首長ら111人が出席し、香南市からは、市長が出席しました。(平成22年1月に加盟)

同会議には1月1日現在、世界153カ国・地域の5,111都市が加盟し、うち国内は1,096都市。全市区町村1,742都市の62.9%が加盟しています。

会議では、被爆者の梶本淑子さん(80)から被爆体験を聞き、平和記念公園の原爆慰霊碑に参拝して原爆資料館を見学。核兵器禁止条約の交渉開始を求める署名活動などについてスペイン・グラナダス市で話し合った第8回理事会(昨年11月)の結果を広島市長が報告しました。14日には、核兵器禁止条約の早期実現に向けた日本政府への要請や、同会議の負担金や、加盟促進について話し合われました。



原爆慰霊碑に
献花をする香南市長

総務課 ☎ 57-8500

このたび全体の奉仕者として職務に専念すべき職員が、非違行為により市民の皆さまにご心配をおかけし、著しく信頼を失墜いたしました。本市職員の相次ぐ不祥事は遺憾の極みであり、改めて深くお詫びを申し上げます。

不祥事の発生を組織全体の問題として捉え、職員一同が公務員としての原点に立ち返り、市民の皆さまからの信頼回復に向けて全力で取り組んでまいりますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。

香南市長 仙頭 義寛

1. 不適切な事務処理等により、39歳男性職員を減給10%6カ月、上司の60歳男性職員を管理監督責任により減給10%1カ月としました。
2. 遅刻、無断欠勤等の一般服務違反により、56歳男性職員を減給10%3カ月としました。

香南市職員の懲戒等の指針に基づき、1月19日付で次のとおり職員の懲戒処分を行い、公表いたしました。

まちのアーティスト大集合!

2012香我美町文化祭

1月14日(土)・15日(日) 香我美市民館で、香我美町文化祭が開催されました。文化サークルや子どもたちの作品展示では、心が和む作品や思わず手に取って見たくなる作品がずらり。屋外では、バザーや出店のテントが立ち並び、おいしい匂いに魅かれて行列ができていました。

また、五色百人一首大会が行われ、参加した小学生約20人は2人1組で向き合い、座布団に正座し集中。詠み上げられた上の句に素早く反応し、下の句が書かれた札に「ハイ!」という元気な声とともに、手を伸ばして取り合っていました。



2日間で1,600本余りを奉納

▲手のひらサイズの的 夜須八幡宮 百手祭

1月19日(木)・20日(金) 夜須八幡宮で県内の三大弓行事とされる「百手祭」が行われました。氏子の中から選ばれた12人の射手が、家内安全や五穀豊穡を願い、「鬼」と書かれた半紙や板、縁起物のダイダイの実などを狙い、次々に矢を放ちました。2日間で奉納した矢は、約1,600本余り。射手が的を射貫くと、見物客から拍手や歓声が沸き起こっていました。また、園児たちが訪れた2日目には、弓を引く体験も行われ、興味津々で一生懸命に弓を引く子どもたちの姿が印象的でした。



まちの話題

topics

大空を彩る土佐凧と商品券の舞

三世代交流新正凧揚げ大会・新春凧揚げ大会

1月15日(日) 野市ふれあい広場で「第37回三世代交流新正凧揚げ大会」、同22日(日) 香我美町徳王子八丁で「新春凧揚げ大会」が行われ、手作りの土佐凧が大空を彩りました。野市の大会では、自作の凧の出来栄や揚がる様子を見て審査する大会も行われ、優秀な凧には賞が贈られました。また、両大会ともに、凧に付けられた竹籠から商品券がばらまかれる「トバシ」が行われ、大人も子どもも、無我夢中で商品券の着地点を予想しながら一目散に会場を駆け回り、手にした商品券を、大それたにしながらお菓子などに交換していました。

写真:野市ふれあい広場にて
16畳(金太郎の凧)の凧揚げ
を体験する子どもたち

